

20030264A

厚生労働科学研究費補助金
医薬品等医療技術リスク評価研究事業

インフルエンザワクチン需要予測に関する研究

平成15年度 総括・分担研究報告書
主任研究者 三浦 宜彦

平成16 (2004) 年 4月

目 次

I. 総括研究報告

インフルエンザワクチン需要予測に関する研究..... 1

三浦宜彦

(資料) インフルエンザワクチン接種状況調査の調査票

II. 分担研究報告

1. 医療機関調査の解析Ⅰ ―ワクチン接種の現況― 2 1

渡辺由美

2. 医療機関調査の解析Ⅱ ―需要予測―..... 3 3

延原弘章

3. 住民調査によるワクチン需要予測..... 4 3

大日康史

III. 研究成果の刊行に関する一覧表..... 5 5

IV. 研究成果の別刷..... 5 7

総括研究報告書

インフルエンザワクチン需要予測に関する研究

主任研究者 三浦 宜彦 埼玉県立大学 教授

研究要旨 インフルエンザワクチン接種の実態を把握することを目的として、都道府県を層として無作為に抽出した 5,158 の医療機関等を対象に、平成 15 年度のインフルエンザワクチン接種状況調査を実施した。その結果、ワクチン接種率は、1 歳未満 9.6%、1 歳以上 6 歳未満 40.1%、6 歳以上 13 歳未満 23.6%、13 歳以上 65 歳未満 12.1%、65 歳以上 52.7%と世代間格差が認められ、全体では 21.3%と推定された。さらに、この調査結果から、16 年度のワクチン需要数は 1,817 万本から約 1,898 万本と推計された。また、900 世帯を対象とした住民の接種意向調査からは、1,700 万本から 1,800 万本程度の需要が推定された。ただし、鳥インフルエンザや重症急性呼吸器症候群（SARS）の国内発生があった場合、最大 2,000 万本近い需要があるものと推定された。

分担研究者

渡辺由美 高崎健康福祉大学 助教授
延原弘章 高崎健康福祉大学 助教授
大日康史 国立感染症研究所 主任研究官

この要請にもとづき、インフルエンザワクチンの需要量の推計方法を確立することを目的とした。

B. 研究方法

下記に示す 2 種の調査を実施して、65 歳未満の任意接種需要量および 13 年度以降の 65 歳以上高齢者の勧奨接種需要量を推計する方法を検討した。

1. 医療機関等を対象とした接種状況調査

医療機関等に対し、シーズン前（15 年 10 月）に協力を依頼し、シーズン終了後（16 年 3 月）に調査票の回収を行った。

①調査対象施設数は、（社）日本医薬品卸業連合

A. 研究目的

インフルエンザの流行は年次変動が大きい上に、平成 6 年度の予防接種法の改正を機にインフルエンザワクチンの接種が任意接種となったことにより、近年、インフルエンザワクチンの需要の予測は困難を極めている。さらに、13 年度には予防接種法改正による高齢者（65 歳以上）へのインフルエンザワクチンの勧奨接種が実施され、インフルエンザワクチンの需要を的確に把握することが求められている。本研究は、

会加盟の医薬品卸売業者が12年度に1本以上を供給した全国 62,433 施設から、都道府県を層として抽出した 5,158 施設とした。

②調査項目は、ワクチン購入本数、年齢（生物学的製剤基準に定められている年齢別）・接種方法別接種人数とした。

2. 住民を対象とした接種意向調査

高齢者、幼児・児童、成人の3グループを対象としてインフルエンザワクチンの接種意向調査を行った。

①調査対象は、調査会社とモニター契約を結んだ900世帯である。

②調査項目は、15年度におけるワクチン接種希望と実際の接種の有無（有りの場合は自己負担額）および16年度のワクチン接種意向と Joint Estimation のための設問とした。

（倫理面への配慮）

医療機関等に記入を依頼した接種状況リストには、被接種者の年齢区分、対象者区分（入院・外来の別、患者・施設入所者・医療従事者等の別）、接種方法、接種日の記入のみを求め、氏名をはじめとする個人を特定される情報の記入は求めなかった。また、インフルエンザワクチン接種意向調査においても、調査対象住民の氏名、住所等の匿名性が失われないようにした。

C. 研究結果

1. 医療機関等を対象とした接種状況調査

1) 回収率を全国で見ると42.2%で、都道府県別には神奈川県31.1%から岡山県の67.6%であった。また、母数に対する回収率は3.5%で、都道府県別には神奈川県2.5%から佐賀県の

9.4%であった。

2) 12年国勢調査人口により接種率を推計した結果、1歳未満の接種率は9.6%で、そのうち83.0%は2回接種となっていた。1歳以上6歳未満の接種率は40.1%で、そのうち82.8%が2回接種、6歳以上13歳未満の接種率は23.6%で、そのうち72.6%が2回接種となっており、13歳未満ではいずれの世代においても2回接種の割合が7~8割程度であった。

13歳以上65歳未満の接種率は12.1%で、そのうち2回接種の割合は10.6%、65歳以上の接種率は52.7%で、そのうち2回接種が2.8%となっており、1回接種が多くなっていた。

接種率を全年齢で見ると21.3%と推定された。

3) 各医療機関等から返送された回答のうち、インフルエンザワクチンの次年度予測接種数について都道府県別集計を行い、その集計結果を母数に対する回収率で除することにより推計値を算出した結果、16年度のワクチン需要数は18,168,509本から18,977,781本と推計された。

2. 住民を対象とした接種意向調査

1) 有効回答率は、88.8%であった。

2) 15年度のインフルエンザワクチン接種率は高齢者49.0%、成人13.8%、幼児・児童27.2%であった。

3) Joint Estimationにより、幼児・児童は2回接種、成人は80%が1回接種、20%が2回接種、高齢者は1回接種と仮定して、16年度の需要予測を試みた結果、高齢者以外での一回当たり接種費用が3,000円とした場合、高齢者での一回当たり接種費用が1,000円では1,811万本、1,500円では1,770万本、高齢者以外での一回当

たり接種費用が4,000円とした場合、高齢者での一回あたり接種費用が1,000円では1,745万本、1,500円では1,704万本と予測された。さらに、年の後半に鳥インフルエンザの国内での患者が発生した場合には1,815～1,921万本、SARSの場合には1,887～1,998万本の需要が推定された。

D. 考察

1) 6年の法改正により、インフルエンザ予防接種は任意接種に変わり、全国的な接種率の把握については困難な状況にあるが、今回の全国的な規模での調査により、全体の接種率は21.3%と推定された。また、世代によって接種率は大きく異なり、65歳以上では5割以上と高く、1歳以上6歳未満も約4割で、他の世代に比べればかなり高率であった。

2) 医療機関等を対象とした接種状況調査では、回答医療機関等の規模に偏りがあった場合、接種率や需要本数の推計にも影響が及ぶ可能性がある。同調査では、ワクチン購入本数や使用本数も調査しているので、ワクチンメーカーからの出荷量および返品量が都道府県別に把握できれば、医療機関等の規模の違いを補正して需要量の予測を行うことも可能である。また、このような製造量のデータによって、前年度に実施した需要予測の検証を行い次年度以降の予測に活用したり、本調査の世代別接種状況より得ることが可能な世代別の接種率に補正を加え、より正確な接種率を把握したりすることも可能であると思える。

3) 昨年度の報告書において15年度のワクチン需要本数を1,244万本から1,308万本と推計したが、この値は、厚生労働省の公表した資料

で示されていた実際の使用本数1,462万本より100万本以上過少の推計であった。これは、住民の意向調査でも同様であった。その原因としては、SARSや鳥インフルエンザが注目されたことによると思われるが、世代別接種率の変化をみると、医療機関調査、住民の意向調査ともに、これまであまり変化のなかった13歳以上65歳未満の世代での上昇が目立っていた。

4) 住民を対象とした接種意向調査では、SARSや鳥インフルエンザが国内で発生した場合の需要についても検討を行い、最大2,000万本近い需要があるものと予測されたが、実際に発生した場合、マスコミ等の報道のされ方で需要動向は大きく変化することが考えられる。いずれにしてもさらに経年的調査が必要であろう。

E. 結論

1. 15年度のインフルエンザワクチン接種率は、世代間に格差がみられ、高齢者の接種率が他の世代に比べると高かったが、全年齢では21.3%と依然として低率であった。

2. 医療機関等を対象とした接種状況調査から16年度のワクチン需要数は約1,817万本から約1,898万本と推計された。

3. 住民を対象とした接種意向調査から16年度のワクチン需要数は約1,704万本から約1,811万本と推計された。

4. SARSや鳥インフルエンザの国内発生があった場合、最大2,000万本近いワクチンの需要があるものと推定された。

5. インフルエンザワクチンの15年度の需要推計値は、医療機関等調査および住民の接種意向調査のいずれの方法によっても、実際の使用本数よりも約100万本以上少なく推計されていた。

6. インフルエンザワクチン需要量の定型的な推計方法を確立するためには、長期に渡る継続した調査が必要である。

F. 健康危機情報

なし

G. 研究発表

1. 発表論文

延原弘章, 渡辺由美, 三浦宜彦, 中井清人:
2003/04 年シーズンにおけるインフルエンザワクチンの需要予測. 厚生指標 51(6): 23-30, 2004

2. 学会発表

1) 延原弘章, 渡辺由美, 三浦宜彦: インフルエンザワクチンの接種状況と需要予測 2-第1報 02/03 年シーズン接種状況-. 第 62 回日本

公衆衛生学会総会, 2003.10 (日本公衛誌 50(10):196, 2003)

2) 渡辺由美, 延原弘章, 三浦宜彦: インフルエンザワクチンの接種状況と需要予測 2-第2報 03/04 年シーズン需要予測-. 第 62 回日本公衆衛生学会総会, 2003.10 (日本公衛誌 50(10) 特別付録: 196, 2003)

3) 三浦宜彦, 渡辺由美, 延原弘章: インフルエンザワクチンの接種状況と需要予測 2-第3報 接種状況の推移-. 第 62 回日本公衆衛生学会総会, 2003.10 (日本公衛誌 50(10) 特別付録: 197, 2003)

H. 知的財産権の出願・登録状況

なし

資料

インフルエンザワクチン接種状況調査の調査票

平成15年10月 1日

御担当者各位

厚生労働省医薬食品局血液対策課長

インフルエンザワクチン需要予測のための調査について（協力依頼）

厚生労働省では、インフルエンザワクチンの需要について、ワクチンの需要をよりの確に把握し、その安定供給を行うために「インフルエンザワクチン需要検討会」を設置し、需要予測のための調査・検討を行っているところです。

平成15年度のインフルエンザワクチンの需要につきましても、医療機関、老人保健施設、老人福祉施設、児童福祉施設、ならびにその他の施設の皆様にご協力をいただき、昨シーズンのインフルエンザワクチンの使用実態等の調査を行わせていただきました。その際には、ご協力を賜りまして、深く感謝申し上げます。

さて、今年度においても平成16年度の需要検討に向けて、昨年度と同様に平成15年度シーズン前から調査票を配布し、シーズン終了後に回収することにより、より適正な需要予測調査ができると考え、引続き研究班により調査を行うこととなりました。

つきましては、貴施設におかれましても、本調査の主旨をご理解いただき、何卒ご協力を賜りますようお願いいたします。

平成15年10月10日

御担当者各位

インフルエンザワクチン需給調査研究班
主任研究者 三浦 宜彦

インフルエンザワクチン需要予測のための調査について（依頼）

インフルエンザワクチンは、ご承知のとおり、平成6年の予防接種法の改正でインフルエンザの予防接種が任意接種となったのを契機に、その製造量は激減いたしました。しかし、近年、インフルエンザの重症化防止として、ワクチンの効果が見直され、その需要は、特に高齢者を中心に急激に伸びております。そこで、厚生労働省では、「インフルエンザワクチン需要検討会」を設置し、インフルエンザワクチンの安定供給に努めているところです。

今般、平成16年度のインフルエンザシーズンの需要予測に向けて、平成15年度の使用状況について、シーズン前に調査票を配布し、シーズン終了後に回収・集計することを考えております。本調査の趣旨をご理解いただき、是非、皆様方のご協力をお願い申し上げます。

調査にご協力いただけましたら、同封いたしました調査票にインフルエンザワクチンの使用時に必要事項をご記入いただき、シーズン終了後（3月1～31日）に同調査票をご返送いただけますようお願い申し上げます。

なお、調査結果については、集計結果のみを公表することとし、個別データの公表は一切致しませんので、ご迷惑をおかけすることはございません。

<調査スケジュール>

10月	調査票の郵送
10月～2月末日 (今シーズン全期間)	接種状況調査期間
3月末日	調査票の返送期限

インフルエンザワクチン需要調査

1. 目的

次シーズン（平成16年度）に向けてインフルエンザワクチンの需要を把握し、需要に見合う量のワクチンを出来る限り円滑に製造・供給をする。

2. 調査方法

インフルエンザワクチンの接種時期に先駆けて無作為に抽出した医療機関, 老人保健施設, 老人福祉施設, 児童福祉施設, ならびにその他の施設に調査依頼を行う。協力施設等においてインフルエンザワクチン接種時に調査票に必要事項を記入する。シーズン終了後にそれらの調査票を回収し、集計する。

3. 調査の位置付け

厚生労働省医薬食品局に設置されたインフルエンザワクチン需要検討会の検討結果をもとに、研究班により実施。

4. 照会先

〒343-8540 埼玉県越谷市三宮820番地

埼玉県立大学保健医療福祉学部 みうら 三浦 あしひこ 萱彦

TEL&FAX : 048(973)4325

e-mail : kango-d@spu.ac.jp

平成15年度インフルエンザワクチン需要調査

インフルエンザワクチン接種状況調査票

名 称	
施設の分類コード (表紙裏のコード表をご参照ください)	
所在地	都 道 県 市 町 区 村
連絡先	電話番号
	F A X
	e-mail アドレス
担当責任者所属部署	
担当責任者名	

- ・ 1 ページの「質問1, 質問2」は, 本調査票返送時 (シーズン終了後) にご記入ください。
- ・ 9 ページ以降の「インフルエンザワクチン接種状況リスト」は, 2 ~ 7 ページの記入の手引きに従って, 本シーズン中, インフルエンザワクチンを接種する度にご記入ください。

施設の種類コード表

医療機関	コードNo.
診療所	0
国（厚生労働省）	1
国（文部科学省）	2
国（労働福祉事業団）	3
国（その他）	4
都道府県	5
市町村	6
日赤	7
済生会	8
北海道社会事業協会	9
厚生連	10
国民健康保険団体連合会	11
全国社会保険協会連合会	12
厚生年金事業振興団	13
船員保険会	14
健康保険組合及びその連合会	15
共済組合及びその連合会	16
国民健康保険組合	17
公益法人	18
医療法人	19
学校法人	20
会社	21
その他の法人	22
個人	23

病院（開設者別）

医療機関以外の施設	コードNo.
老人保健施設	30
老人福祉施設	41
特別養護老人ホーム	42
養護老人ホーム	43
軽費老人ホーム	44
有料老人ホーム	45
その他の老人福祉施設	45
児童福祉施設	50
コード0～50以外の施設	60

本調査票返送時（本シーズン終了後）に下記の質問にご回答ください。

質問1. 15年度（本シーズン）のワクチン準備本数及び実際に使用した本数（実績）をご記入ください。

本シーズン実績	1mLバイアル	0.5mLバイアル・シリンジ ^②
15年度（本シーズン）ワクチン準備本数 〔（実際に購入したワクチン）+（市町村より支給されたワクチン等）全て含みます。〕	本	本
15年度（本シーズン）ワクチン使用本数	本	本

② 本シーズンより、北里研究所製0.5mLバイアルおよび
デンカ生研製0.5mLシリンジが出荷されます。

質問2. 16年度（次シーズン）の接種見込み人数を下記の欄にご記入ください。

1歳未満	人
1歳以上6歳未満	人
6歳以上13歳未満	人
13歳以上65歳未満	人
65歳以上	人
計	人

●インフルエンザワクチン接種状況リストの記入の手引き

1. 【集計方法】 ①この調査票のインフルエンザワクチン接種状況リストに、直接集計結果を記入する場合
- ・接種者1人を1行に記入する方法
 - ・同日に同じ条件（年齢区分・対象者区分・接種方法が同じ）の接種者がいた場合は、1日分をまとめて1行に記入する方法
 - ・同期間に同じ条件（年齢区分・対象者区分・接種方法が同じ）の接種者がいた場合は、期間分をまとめて1行に記入する方法
- ☆いずれの方法で記入していただいても結構です。

②コンピュータ集計の場合

コンピュータ集計をされている施設では、調査票のインフルエンザワクチン接種状況リストに転記する手間を省くため、そのまま集計データをお送りいただいかまいません。

その場合、できれば入力例のように、必要調査項目には漏れないようご提出下さい。
送っていただくデータは、Windows で読める形式であれば、媒体は FD, MO, CD-R 等何でも結構です。

なお、e-mail でのご提出も受け付けておりますので、下記アドレスに送信してください。

e-mail : kango-d@spu.ac.jp

2. 【集計用欄】 同じ条件（年齢区分・対象者区分・接種方法が同じ）の接種者を、まとめて記入される場合に利用ください。
3. 【人数】 接種者1人を1行に記入する場合は1を、同じ条件の接種者を期間分まとめて記入する場合は、集計した人数をご記入ください。

4. 【年齢区分】 該当する年齢区分の数字1つに○をつけてください。
5. 【対象者区分】 該当する対象者区分の数字1つに○をつけてください。
・ 「入院患者」とは貴施設が医療機関（病院・診療所）の場合の入院患者をいいます。
・ 「施設入所者・通所者」とは老人保健施設、特別養護老人ホーム等の福祉施設、その他の施設の入所者又は通所者をいいます。
・ 「医療従事者・施設従事者」とは医療機関・施設の職員等の従事者をいいます。
6. 【接種方式】 該当する接種方式の数字1つに○をつけてください。
7. 【接種日(期間)】 接種日(期間)をご記入下さい。
・ 1日の場合：上段に平成×年×月×日と記入し、下段は線を引くなどして消しておく。
・ 複数日の場合：上段に開始日を記入し、下段に終了日を記入する。
☆いずれの場合も、必要な項目はハッキリと記入し、不要な記述は消しておいて下さい。

*インフルエンザワクチン接種状況リストが不足する場合は、ご請求ください。

*お手数でなければ、コピーにご記入いただいても結構です。

4～7ページの記入・入力例をご参照ください。

【記入例1】接種者1人ずつ記入する場合

集計用欄	人数	年齢区分 (該当の数字1つに○をつける)	対象者区分 (該当の数字1つに○をつける)	接種方法 (該当の数字1つに○をつける)	接種日(期間)
	1	①: 1歳未満 2: 1歳以上～6歳未満 3: 6歳以上～13歳未満 ④: 13歳以上～65歳未満 5: 65歳以上	①: 外来患者 2: 入院患者 3: 施設入所者・通所者 ④: 施設従事者・施設従事者 5: 1～4以外	①: 1回接種 2: 2回接種の1回目 3: 2回接種の2回目	平成15年12月5日 平成15年12月5日
	1	1: 1歳未満 2: 1歳以上～6歳未満 ③: 6歳以上～13歳未満 4: 13歳以上～65歳未満 5: 65歳以上	①: 外来患者 2: 入院患者 3: 施設入所者・通所者 4: 施設従事者・施設従事者 5: 1～4以外	1: 1回接種 ②: 2回接種の1回目 3: 2回接種の2回目	平成15年12月5日 平成15年12月5日
	1	1: 1歳未満 2: 1歳以上～6歳未満 3: 6歳以上～13歳未満 ④: 13歳以上～65歳未満 5: 65歳以上	①: 外来患者 2: 入院患者 3: 施設入所者・通所者 4: 施設従事者・施設従事者 5: 1～4以外	①: 1回接種 2: 2回接種の1回目 3: 2回接種の2回目	平成15年12月5日 平成15年12月5日

【記入例2】同じ条件の接種者をまとめて記入する場合

集計用欄	人数	年齢区分 (該当の数字1つに○をつける)	対象者区分 (該当の数字1つに○をつける)	接種方法 (該当の数字1つに○をつける)	接種日(期間)
正正一	11	①: 1歳未満 2: 1歳以上～6歳未満 3: 6歳以上～13歳未満 4: 13歳以上～65歳未満 5: 65歳以上	①: 外来患者 2: 入院患者 3: 施設入所者・通所者 4: 施設従事者・施設従事者 5: 1～4以外	1: 1回接種 ②: 2回接種の1回目 3: 2回接種の2回目	平成15年11月10日 平成15年11月10日
正正正正正 正	45	1: 1歳未満 2: 1歳以上～6歳未満 3: 6歳以上～13歳未満 4: 13歳以上～65歳未満 ⑤: 65歳以上	①: 外来患者 2: 入院患者 3: 施設入所者・通所者 4: 施設従事者・施設従事者 5: 1～4以外	①: 1回接種 2: 2回接種の1回目 3: 2回接種の2回目	平成15年11月10日 平成15年11月20日 平成15年11月10日

【記入例3】混在した方法で記入する場合

集計用欄	人数	年齢区分 (該当の数字1つに○をつける)	対象者区分 (該当の数字1つに○をつける)	接種方法 (該当の数字1つに○をつける)	接種日(期間)
	1	1: 1歳未満 ②: 1歳以上～6歳未満 3: 6歳以上～13歳未満 4: 13歳以上～65歳未満 5: 65歳以上	①: 外来患者 2: 入院患者 3: 施設入所者・通所者 4: 医療従事者・施設従事者 5: 1～4以外	1: 1回接種 ②: 2回接種の1回目 3: 2回接種の2回目	平成15年11月25日 平成15年11月25日
正正正	14	1: 1歳未満 2: 1歳以上～6歳未満 3: 6歳以上～13歳未満 4: 13歳以上～65歳未満 ⑤: 65歳以上	1: 外来患者 ②: 入院患者 3: 施設入所者・通所者 4: 医療従事者・施設従事者 5: 1～4以外	①: 1回接種 2: 2回接種の1回目 3: 2回接種の2回目	平成 年 月 日 平成 年 月 日
正正正 正正正	37	1: 1歳未満 2: 1歳以上～6歳未満 ③: 6歳以上～13歳未満 4: 13歳以上～65歳未満 5: 65歳以上	①: 外来患者 2: 入院患者 3: 施設入所者・通所者 4: 医療従事者・施設従事者 5: 1～4以外	①: 1回接種 2: 2回接種の1回目 3: 2回接種の2回目	平成15年12月1日 平成15年12月5日
	1	1: 1歳未満 2: 1歳以上～6歳未満 3: 6歳以上～13歳未満 4: 13歳以上～65歳未満 ⑤: 65歳以上	①: 外来患者 2: 入院患者 3: 施設入所者・通所者 4: 医療従事者・施設従事者 5: 1～4以外	1: 1回接種 2: 2回接種の1回目 ③: 2回接種の2回目	平成15年12月10日 平成15年12月10日
—	1	①: 1歳未満 2: 1歳以上～6歳未満 3: 6歳以上～13歳未満 4: 13歳以上～65歳未満 5: 65歳以上	①: 外来患者 2: 入院患者 3: 施設入所者・通所者 4: 医療従事者・施設従事者 5: 1～4以外	①: 1回接種 2: 2回接種の1回目 3: 2回接種の2回目	平成15年12月11日 平成15年12月11日

↑

同じ期日が続く場合は“、同上、等でも可

【入力例1】Excelを使用した場合

④ファイル名には、必ず貴施設名をご使用下さい。

Microsoft Excel - 貴施設名.xls

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 挿入(I) 書式(O) ツール(T) データ(D) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

MS Pゴシック 11 B I U % , *% +% 法律

I14

A	B	C	D	E	F	G
1	名称	埼玉県立大学				
2	施設の種類コード	60				
3	所在地	埼玉県越谷市三野宮820				
4	TEL	048-973-4325				
5	FAX	048-973-4325				
6	E-mail	kango-d@spu.ac.jp				
7	担当者所属部署	保健医療福祉学部				
8	担当者	三浦直彦				
9						

NUM

コマンド

Microsoft Excel - 貴施設名.xls

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 挿入(I) 書式(O) ツール(T) データ(D) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

MS Pゴシック 11 B I U % , *% +% 法律

Q7

A	B	C	D	E	F	G
1	15年度ワクチン		16年度ワクチン	接種見込み人数		
2	購入本数	使用本数	6歳未満	6歳-13歳	13歳-65歳	65歳以上
3	120	114	0	3	62	65
4						130
5						

NUM

コマンド

Microsoft Excel - 札幌設名.xls

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 挿入(I) 書式(O) ツール(T) データ(D) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

□ 印刷(P) □ 印刷範囲(R) □ 印刷範囲の表示(B) □ 印刷範囲の非表示(H) □ 印刷範囲の解除(U) □ 印刷範囲の追加(A) □ 印刷範囲の削除(D) □ 印刷範囲の移動(M) □ 印刷範囲の複製(C) □ 印刷範囲の削除(C)

C12

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	No.	人数	年齢	対象者	方法	接種期間			
2	1	1	4	1	1	10/25	接種者 1 人を集計		
3	2	3	4	1	1	10/21	同じ条件の接種者を 1 日分まとめて集計		
4	3	1	4	1	2	10/27	同じ条件の接種者を 1 日分まとめて集計		
5	4	14	4	1	1	11/1~11/10			
6	5	6	5	2	1	11/1~11/10			
7	6	50	4	1	1	12月			
8									
9									
10									

コマンド: Sheet1 \ Sheet2 \ Sheet3 / NUM

- ◆ 4～7ページの記入・入力例を参照にして、ご記入下さいますようお願いいたします。
- ◆ ご記入の際、ご不明な点等ございましたら、下記までお尋ねください。
- ◆ インフルエンザワクチン接種状況リストが不足した場合は、下記までご請求ください。
(お手数でなければ、コピーにご記入いただいても結構です。)

埼玉県立大学内 インフルエンザワクチン需要予測研究班 三浦宜彦

TEL 048-973-4325

FAX 048-973-4325

e-mail kango-d@spu.ac.jp